



## 輝く新年に臨んで

小野町長 穴戸 良三

新年あけましておめでとございます。

平成22年の年頭にあたり、謹んで新春を賀し新年のお慶びを申し上げます。町民のみなさまには幸多き一年となるよう心からご祈念申し上げます。

お正月の縁起物に、七福神の宝船があります。が、わたくしたちにとって、一番のお宝は、健康だと思えます。からだの健康、こころの健康願うだけでは近づいてきませんが、努力することが大切だと思えます。そしてどんな状況でも前向きに考えることができれば、福の神が近寄ってくると思えます。「笑う門には福来たる」元気を出してみんなで頑張りましょう。

一人一人の希望や活力は、人を育て、家庭を育み、地域や町をつくり、小野町や社会が輝くみなもとになると思えます。元氣いっぱい素晴らしい一年となることを共に期待いたします。わたくしも二期目初めての新年を迎え、決意を新たにし、町政伸展と町民福祉の向上を目指し、引き続き夢や希望に輝く町づくりを進進する覚悟です。

昨年策定いたしました第四次小野町振興計画に基づき、町の将来像の「きらめく人と自然」あつたか小野町に向かつて基本目標の「すこやか」「はぐくみ」「げんき」「さわやか」「あんしん」の五つの目標を着実に具体的に実現していきたいと考えております。

厳しい環境の中、行財政の改革に努めると同時に、懸案の事業も着々と進んできております。小中学校の耐震化については、優位な財源確保に努め、安全安心の耐震対策事業を実施中であります。小学校については現校舎・現体育館に必要な補強工事を実施する予定であります。耐震補強の実施設計を委託中であり、まもなく

補強工事に取り掛かれる運びとなっております。

小野中学校の改築整備事業では、校舎、体育館、武道場など施設を全面新築建替えし、併せて給食センターを造ります。敷地造成工事、実施設計が概ね終了し、現校舎の一部解体工事も始まり、校舎本体工事の着手に向けて最終的な作業を進めております。また、電子黒板や太陽光発電設備を小中学校に配備する予定であります。

地方での情報に対する地域間格差の大きな問題であります。光ファイバーサービスの利用に關しましては大きく前進いたしました。国・県・関係事業者などと協議を進め、優位な財源を確保すると共に72局・73局・小野町全域において利用できるよう、光ファイバーを敷設し本年中に利用開始できる予定であります。

高速バスにつきましては、運行見直しが懸念された暫定バス停の利用から、小野インターチェンジ直近に正式にバス停が認可され、正式運用が始まりました。利用者の駐車場につきましても順次拡張を進めることになっております。

右支夏井川の河川改修事業は、国・県のご協力のもとに順調に進捗しております。平館橋から下流部については、平成24年竣工を目標に工事を進めております。引き続き上流部の工事に直ちに着手できるよう全力で取り組む所存であります。関係する町民のみなさまのご協力をあらためてお願いいたします。

昨年末には協同飼料株式会社の小野町への研究所立地が発表されました。引き続き企業の立地に向けて取り組んでまいります。

措辞ではありませんが、年頭のあいさつに代えさせていただきます。本年もご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。